

ぐんまスペースアワード2025 優勝報告

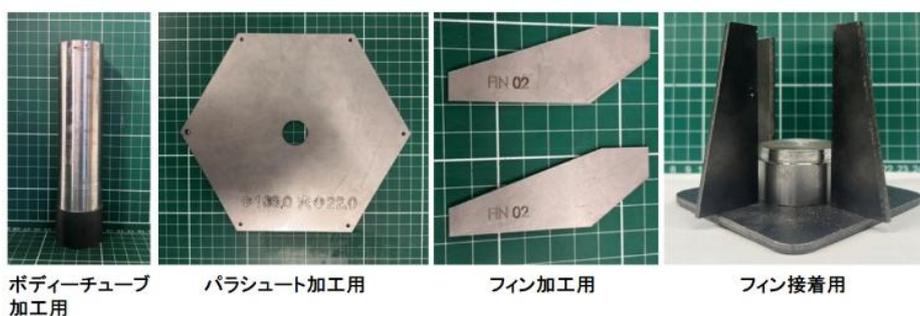
令和7年11月15日(土)前橋総合運動公園で開催された、ぐんまスペースアワード(GSA)2025ぐんまロケットチャレンジに参加しました。大会には県内の中高生グループ19チームが出場し、それぞれが研究を進めて製作したロケットで打ち上げ競技が行われ、本校の機械科3年生7人によるチーム高工Aero" "が優勝・県知事賞を手にしました。

打ち上げ前には機体が規定内に製作されているか確認され、打上競技は目標の高度と滞空時間にどれだけ近づけるかを審査されます。打ち上げた機体は回収、宇宙飛行士に見立てて搭載したうずらの卵が割れていたり、機体が損傷しているもの、エリア外に落ちたりしたものは失格となります。

打上競技は、午前・午後の2回実施されましたが、特に午後の打ち上げでは強い風により多くのチームが失格。記録を残せたのは6チームでした。

チーム高工Aero" "では、大会2日前に搭載予定のエンジンが入手できないことがわかり、急遽機体をつくり変えることになりました。しかし、そんなこともあろうかと? 機体の構成部品を選択できるように設計しておいたことが功を奏し、大会前日までに調整することができました。

製作規定により、ロケットには金属部品を使用することができません。しかし、金属加工のテクニックを武器に様々な治具を作り上げ、常に同じ品質のロケット部品を作り上げることを可能にしました。今後は全国大会「宇宙甲子園ロケット部門」への出場に向けてチャレンジを続けます。



ロケット製作用のジグ



ぐんまスペースアワード 2025

<https://www.gs-award.com/>